

優秀賞

# ありがとうがよひがらひぼう

滋賀県 米原市立坂田小学校二年 北川 美珠

この夏休み、おかあさんがびょうきでしゅじゅつをうけることになって、十日間入いんしました。その話を聞いたとき、わたしはとてもかわいそうだなと思いましたが。さびしいし、しゅじゅつがうまくいくかどうかすごく心配でした。おかあさんがいないなんて、本とうにこわかったです。もし、わたしがしゅじゅつをうけることになったら、きっとこわくてできないんじゃないかと思いました。

おかあさんが入いんしてからは、まいにちおかあさんのことを考えていました。おかあさんがしゅじゅつをうけて、うまくいくかどうか、すごく心配いでした。あさおきると、いつもならおかあさんが「おはよう」と言ってくれるけど、それがなくてさびしかったです。「おかえりなさい」もなかったのでも、もっとさみしくなりました。でも、おとうさんがあさやかえりにおむかえをしてくれたり、しごとが早く終わったときはうれしかったです。そして、

おばあちゃんがごはんをつくってくれたり、おべんとうをよういしてくれたりしました。わたしの大好きなちらしずしもつくってくれて、ほんとうにうれしくて、

「おいしかったよ、おばあちゃんありがとう。」とつたえました。

ちょうどそのとき、チアダンスのがっしゅくがありました。コーチはおかあさんのことをしっていて、わたしにやさしくしてくれました。しゃしんをたくさんとってくれたり、おうえんしてくれたりしました。わたしは、「がんばってしょうをとる」と心の中できめていました。なぜなら、おかあさんに元気をあげたいからです。そして、いままでれんしゅうしてきたことをしんじていたからです。そのけっか、Y字バランスしょうでグランプリをとることができました。それをおかあさんにしらせるとき、おかあさんが、

「しゃしんをみて、えがおでがんばってるすがたがうれしかった。しょうをもらって、ないてしまっただよ。」

と言ってくれて、わたしもすごくうれしくなりました。

これをけいけんして、わたしはおかあさんにたくさんたすけてもらっていたことに気づきました。まいにち、ごはんをつくってくれたり、おふろにいれてくれたり、はみがきやかみのけをととのえてくれたり、いろんなことをしてくれていました。それはぜんぶあたりまえじゃなくて、ありがたうだったんだなと思いました。前に、おとうさんが「ありがとうのはんたいはあたりまえだよ」と言っていたことを思い出しました。おかあさんがしてくれることは、ぜんぶがありがたうだって気づけてよかったです。わたしがいまあるのは、おかあさん、おとうさん、おばあちゃん、そしてまわりのたくさんの方がいてくれるからだと思います。だから、こんどはわたしの「ありがとう」をしっかりとっていききたいです。

